News Release



近畿経済の動向

~ 厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる ~

■項目別の動向(9月指標を中心として)

生 産 … 持ち直しの動き

個人消費 … 一部に弱い動きがあるものの、持ち直している

設備投資 … 増加している中、伸びは鈍化傾向

住宅投資 … 弱まっている

公共投資 … 請負金額は前年同月を上回った

輸 出 … 前年同月を下回った 雇 用 … 弱い動きとなっている 倒 産 … 件数は前年同月を下回った

近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

生産は、持ち直しの動き。個人消費は、一部に弱い動きがあるものの、持ち直している。設備投資は、増加している 中、伸びは鈍化傾向となっている。住宅投資は、弱まっている。輸出は、前年同月を下回った。雇用は、弱い動きとなっ ている。

先行きについては、海外経済の動向、生活様式の変化に伴う需給の動き等、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与 える影響に注視が必要である。

> 令和2年11月18日 近畿経済産業局

<判断の推移>

	令和2年10月(令和2年8月指標中心)	令和2年11月(令和2年9月指標中心)
総括判断	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動き	\rightarrow
個人消費	一部に弱い動きがあるものの、持ち直している	\rightarrow
設備投資	増加している中、伸びは鈍化傾向	\rightarrow
住宅投資	弱まっている	\rightarrow
公共投資	請負金額は前年同月を下回った	請負金額は前年同月を上回った
輸出	前年同月を下回った	\rightarrow
雇用	弱い動きとなっている	\rightarrow
倒産	件数は前年同月を上回った	件数は前年同月を下回った

〈主要経済指標〉

		生産			個人沒	消費			住宅投資	公共投資	貿易	j	雇	用	倒産
		鉱工業生産 指数	百貨店・ス- 全店ベース	ーパー販売額 既存店ベース	コンビニエンス ストア 販売額	家電大型専門店 販売額	乗用車新規登 録・届出台数	消費者 物価指数	新設住宅 着工戸数	公共工事 請負金額	輸出額	輸入額	有効求人 倍率	完全失業率	倒産件数
2018年		0. 9	▲ 0.6	▲ 0.3	2. 4	1. 7	0. 9	0.8	2. 8	▲ 0.4	3. 2	5. 3	1. 61	2. 8	▲ 3.6
2019年		▲ 4.0	▲ 0.8	▲ 1.0	2. 6	5. 6	▲ 0.9	0. 4	▲ 2.6	15. 8	▲ 5.1	▲ 4.6	1. 62	2. 6	3. 7
2018年度	Ę	▲ 0.2	▲ 1.1	▲ 1.1	2. 7	2. 0	1. 4	0. 5	7. 0	0.9	▲ 0.1	2. 3	1, 61	2. 8	▲ 6.5
2019年度	Ę	▲ 4.2	▲ 2.2			3. 7	▲ 4.2	0. 5	▲ 6.1	19. 7		▲ 6.1	1. 58		
2019年	7~9月	0. 2	3. 4	3. 1	0. 7	18. 3	10. 5	0. 3	▲ 2.6	7. 8	2. 1	3. 7	1. 61	2. 5	15. 7
	10~12月	▲ 7.3	▲ 5. 0			▲ 6.5	▲ 17. 6	0. 6	1 .4			▲ 12.3	1. 60		11. 9
2020年	1~3月	4. 2	→ 7.1			▲ 3.8	▲ 11.8	0. 5	▲ 5.9			▲ 9.4	1. 48		9. 1
	4~6月	▲ 15. 0				4. 3	▲ 34. 0	0. 3	▲ 7.5		▲ 12.0	▲ 8.3	1. 23	3. 0	▲ 4. 1
	7~9月	6. 4				▲ 4.6	▲ 16.3	0. 4	▲ 7.9	14. 1	▲ 8.7	▲ 16.1	1. 06		1.4
2019年	9月	1. 3	13. 8	13. 4	▲ 0.5	57. 4	16. 7	0. 2	▲ 5.3	12. 9	27. 5	30. 3	1, 61	2. 7	32. 6
	10月	▲ 6.9	▲ 8.8		3. 6	▲ 9. 2	▲ 26. 7	0. 2	▲ 0. 7		▲ 7.9	▲ 14.0	1. 60		10. 7
	11月	▲ 2. 1	▲ 3.1			▲ 2.3	▲ 12. 9	0. 6	▲ 9.0		▲ 10. 2	▲ 16.5	1. 60		10. 9
	12月	1. 5	▲ 3.6	▲ 3.5	0. 9	▲ 7.6	▲ 13.0	0.8	6. 2	9. 0	▲ 4.1	▲ 5.8	1. 60	2. 2	14. 8
2020年	1月	4. 7	▲ 2.1	▲ 2.0	2. 1	0. 3	▲ 12. 3	0. 7	▲ 13.8	33. 0	▲ 3.6	▲ 7.4	1. 51	2. 4	6. 9
	2月	▲ 0.7	▲ 4.5	▲ 4.5	1. 7	1.3	▲ 11.0	0. 5	▲ 3.7	▲ 2.1	0.8	▲ 17.5	1. 49	2. 7	14. 9
	3月	▲ 1.1	▲ 14.5	▲ 15.0	▲ 7.2	▲ 11.1	▲ 12.0	0. 4	▲ 0.4	40. 2	▲ 5.2	▲ 4.2	1. 43	3. 1	6. 1
	4月	▲ 9.5	▲ 28.6	▲ 30.4	▲ 13.1	▲ 12.5	▲ 30.6	0. 2	▲ 16.3	36. 2	▲ 5.4	▲ 2. 1	1. 35	3. 1	10. 1
	5月	▲ 8.9	▲ 23.9	▲ 25.3	▲ 11.5	5. 2	▲ 48.6	0. 3	▲ 2.3	▲ 4.1	▲ 17.0	▲ 19.6	1. 22	2. 9	▲ 60.8
	6月	3. 0	▲ 7.8	▲ 8.0	▲ 7.7	18. 3	▲ 23.9	0. 3	▲ 3.1	22. 6	▲ 14.1	▲ 2. 1	1. 13	3. 1	40. 9
	7月	7. 2	▲ 7.8	▲ 7.9	▲ 9.3	12. 3	▲ 14.8	0. 4	▲ 9.0	1.0	▲ 11.8	▲ 18.5	1. 09	3. 2	16. 1
	8月	▲ 0.4	▲ 6.3	▲ 6.8	▲ 7.0	7. 8	▲ 16.4	0. 3	▲ 10.3	▲ 1.8	▲ 8.7	▲ 16.9	1. 05	3. 2	2. 6
	9月	2. 1	▲ 18.6	▲ 18.5	▲ 4. 1	▲ 28. 1	▲ 17. 5	0. 3	▲ 4.6	42. 8	▲ 5.7	▲ 12.6	1. 04	3. 3	▲ 15.4

上記表中の数値は原則として福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府5県の前年比増減率(%)。

ただし、「鉱工業生産指数」の四半期、月の値は前期比、前月比。「鉱工業生産指数」、「有効求人倍率」の四半期、月の値については、季節調整済み。

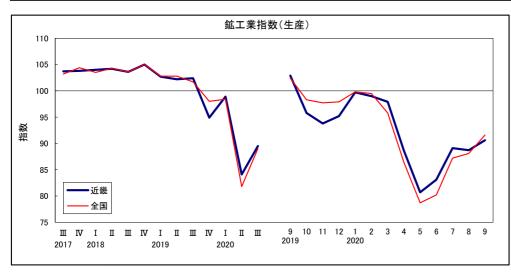
[「]完全失業率」は原数値。「消費者物価指数」、「輸出額」、「輸入額」及び「完全失業率」は、福井県を除く2府4県の値。

データ利用の際の注意事項等は、巻末の「経済指標の推移」を参照のこと。

1. 生産 … 持ち直しの動き

○鉱工業指数 ── 生産は前月比 2. 1%増(2か月ぶりの上昇)

・9月の鉱工業指数(速報値)は、生産は 90.6(季節調整済、以下同じ)で前月比 2.1%増(全国 4.0%増)と2か月ぶりの上昇、出荷は 91.2で前月比 3.5%増(全国 3.8%増)と2か月ぶりの上昇、在庫は 96.9で前月比 0.8%増(全国 0.3%減)と4か月ぶりの上昇、在庫率は 122.7で前月比 0.6%減(全国 3.7%減)と4か月連続の低下となった。





					(+14.	IN / TILL (IN)	午四万元はん	, 2010-100/	
		近畿				全国			
	季節調整済指数 原指数		季節調整済指数 原		原指	数			
		前月比		前年 同月比		前月比		前年 同月比	
生 産	90.6	2.1	94.6	▲ 10.2	91.6	4.0	95.6	▲ 9.0	
出 荷	91.2	3.5	95.7	▲ 11.1	90.4	3.8	94.8	▲ 9.9	
在庫	96.9	0.8	95.8	▲ 6.1	97.7	▲ 0.3	96.9	▲ 5.5	
在庫率	122.7	▲ 0.6	114.9	10.7	118.6	▲ 3.7	112.4	7.5	

(単位:前月比は%、2015=100)

(単位・前月比、前年同月比は%、2015=100)

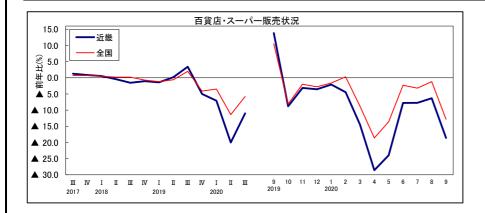
	近 畿(生 産)	全 国(生 産)
	季節調整	済指数	季節調整	済指数
		前月比		前月比
鉄鋼・非鉄金属工業	73.4	1.7	82.9	5.6
金属製品工業	85.9	12.9	86.8	3.2
生産用機械工業	89.4	6.9	89.8	11.1
汎用·業務用機械工業	88.5	▲ 2.4	80.8	▲ 7.0
電子部品・デバイス工業	89.2	▲ 5.8	101.8	5.7
電気·情報通信機械工業	95.8	13.0	87.7	4.8
輸送機械工業	112.4	9.0	95.1	9.6
化学工業(除. 医薬品)	94.4	▲ 0.2	97.1	1.8

データ出所:近畿経済産業局「近畿地域鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

2. 個人消費 … 一部に弱い動きがあるものの、持ち直している

○百貨店・スーパー販売状況 ── 前年同月比18.6%減(12か月連続の減少)

- ・9月の近畿地域の百貨店・スーパーの販売額は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの影響により、前年同月比18.6%減(全国12.8%減)と12か月連続で前年を下回った。
- ・百貨店40店の販売額は、全店ベースで前年同月比36.2%減(全国34.0%減)と12か月連続で前年を下回った。
- ・スーパー874店の販売額は、全店ベースで前年同月比6.1%減(全国3.0%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

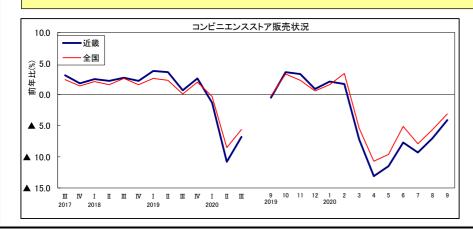


販売額					合計(百貨店	[十ス一パー]		130 133 1 20 707
		販元 額	近畿	全店	既存店	全国	全店	既存店
		숨 計	275, 238	▲ 18.6	▲ 18.5	1, 568, 070	▲ 12.8	▲ 13.9
業態		百 貨 店	89, 095	▲ 36.2	▲ 35.4	370, 812	▲ 34.0	▲ 32. 1
別		スーパー	186, 143	▲ 6.1	▲ 5.7	1, 197, 258	▲ 3.0	▲ 4.7
	衣	料 品 計	33, 427	▲ 36.8	▲ 35.6	148, 607	▲ 35.9	▲ 33.9
商		紳士服・洋品	6, 118	▲ 36.4	▲ 34. 9	31, 461	▲ 33.6	▲ 31.5
冏		婦人・子供服・洋品	24, 677	▲ 36.2	▲ 35.2	104, 220	▲ 35.7	▲ 33.7
		その他の衣料品	2, 633	▲ 42.4	▲ 41.3	12, 926	▲ 42. 3	▲ 40.3
	身	の回り品	14, 506	▲ 40. 1	▲ 39.5	65, 668	▲ 34.9	▲ 33.6
品	飲	食 料 品	173, 506	▲ 0.1	▲ 0.2	1, 055, 771	2. 0	0. 1
пп	家	具·家電·家庭用品計	8, 862	▲ 31.9	▲ 31.1	55, 755	▲ 24. 7	▲ 26.0
		家具	1, 237	▲ 39.4	▲ 38.4	6, 853	▲ 34.6	▲ 33.3
		家庭用電気機械器具	1, 860	▲ 42.0	▲ 41.6	13, 801	▲ 29.3	▲ 31.8
別		家 庭 用 品	5, 765	▲ 25.8	▲ 25. 2	35, 101	▲ 20.3	▲ 21.7
נימ	そ	の他の商品	43, 083	▲ 39.0	▲ 38.5	233, 411	▲ 30.6	▲ 30.8
	食	堂・喫茶	1, 854	▲ 41.7	▲ 41.0	8, 859	▲ 35.4	▲ 33.4

データ出所:近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況(近畿地域)」

○コンビニエンスストア販売状況 ── 前年同月比4. 1%減(7か月連続の減少)

・9月の近畿地域のコンビニエンスストア商品販売額・サービス売上高は、全店ベースで前年同月比4.1%減(全国3.1%減)と、7か月連続で前年を下回った。



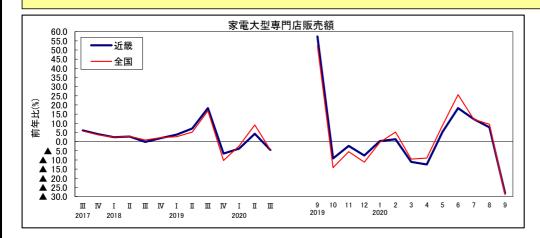
			(単位:日方	円、削年比%)
	近畿前年比		全国	前年比
商品販売額・サービス売上高	147, 417	▲ 4.1	988, 740	▲ 3.1
店舗数	8 617	▲ 0.7	56 464	A 0.2

(単位:百万円、前年比%)

データ出所:経済産業省「商業動態統計」

○家電大型専門店販売額 — 前年同月比28.1%減(5か月ぶりの減少)

・9月の近畿地域の家電大型専門店販売額は、前年同月比 28.1%減(全国 29.0%減)と5か月ぶりに前年を下回った。



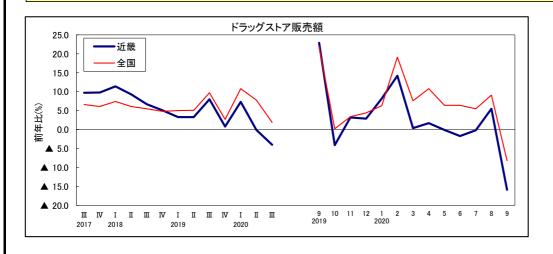
(単位:百万円、前年比%)

	近畿前年比		全国	前年比
商品販売額	70, 168	▲ 28. 1	367, 323	▲ 29.0
店舗数	461	0. 9	2, 561	1. 6

データ出所:経済産業省「商業動態統計」

○ドラッグストア販売額 **一 前年同月比15.9%減(2か月ぶりの減少)**

・9月の近畿地域のドラッグストア販売額は、前年同月比 15.9%減(全国 8.2%減)と、2か月ぶりに前年を下回った。



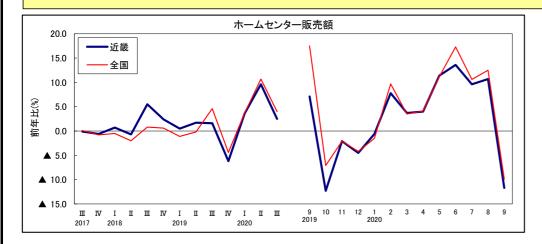
(単位:百万円、前年比%)

	近畿前年比		全国	前年比	
商品販売額	79, 971	▲ 15. 9	584, 830	▲ 8.2	
店舗数	2, 518	4. 7	16, 786	3.8	

データ出所:経済産業省「商業動態統計」

○ホームセンター販売額 — 前年同月比11.7%減(8か月ぶりの減少)

・9月の近畿地域のホームセンター販売額は、前年同月比 11. 7%減(全国 9. 9%減)と8か月ぶりに前年を下った。



			(単位:日	<u> 1万円、削年比%)</u>
	近畿	前年比	全国	前年比
商品販売額	39, 559	▲ 11.7	274, 306	▲ 9.9
店舗数	621	0.3	4, 400	1.1

データ出所:経済産業省「商業動態統計」

○乗用車新規登録・届出台数 ── 前年同月比 17.5%減(12か月連続の減少)

- ・9月の近畿地域の乗用車新規登録・届出台数は 59,094台で、前年同月比 17.5%減(全国 14.7%減)と12か月連続で前年を下回った。
- ・「普通車」(前年同月比 16.5%減)、「小型車」(同 20.5%減)、「軽四車」(同 16.6%減)と、全車種が12か月連続で前年を下回った。



			<u>(単位:削年比%)</u>
前年	司月比	近畿	全国
合	計	▲ 17.5	▲ 14.7
	普 通 車	▲ 16.5	▲ 16.5
車種別	小型車	▲ 20.5	▲ 14.9
	軽四車	▲ 16.6	▲ 12.7

(** /* ** /* ILOV)

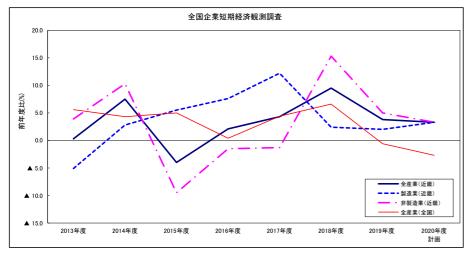
データ出所:(一社)日本自動車販売協会連合会、

(一社)全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資 … 増加している中、伸びは鈍化傾向

〇全国企業短期経済観測調査 —— 2020年度は、全産業で前年度比3.3%増の計画

- ・2020年6月調査における設備投資額は、全産業で2019年度は、前年度比3.8%増(全国0.6%減)、2020年度計画は、前年度比3.3%増(全国2.7%減)となっている。
- ・業種別では、2019年度は製造業で同2.0%増(全国0.9%増)、非製造業で同5.0%増(全国1.5%減)、2020年度計画は製造業で同3.3%増(全国0.3%減)、非製造業で同3.3%増(全国4.1%減)となっている。



平成27年3月調査から調査対象企業の見直しを実施。平成25年度以前は新規調査対象を含まない旧ベースの計数。

				(前	年度比:%)
		近	畿	全	玉
区	分	2019年度	2020年度 (計画)	2019年度	2020年度 (計画)
全産業		3.8	3.3	▲ 0.6	▲ 2.7
製造業		2.0	3.3	0.9	▲ 0.3
	大企業	3.1	3.9	4.3	3.5
	中堅企業	▲ 9.2	7.2	▲ 8.8	▲ 2.9
	中小企業	▲ 1.7	▲ 17.4	▲ 1.2	▲ 12.0
非製造業		5.0	3.3	▲ 1.5	▲ 4.1
	大企業	7.4	1.8	▲ 2.0	0.1
	中堅企業	▲ 11.3	16.7	▲ 1.8	▲ 4.5
	中小企業	14.7	▲ 10.0	0.5	▲ 18.4

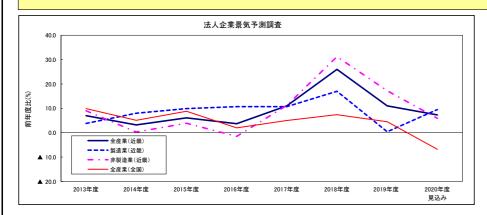
データ出所:日本銀行(含む 土地投資額)

(大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円~10億円未満、中小企業: 同2千万円~1億円未満)

〇法人企業景気予測調査 ―― 2020年度は、全産業で前年度比7.3%増の見込み

・2020年度の設備投資(令和2年8月15日調査)は、全産業で前年度比7.3%増(全国6.8%減)の見込みとなっている。

・業種別では、製造業で同9.5%増、非製造業で同5.9%増、規模別では、大企業で同8.6%増、中堅企業で同2.7%減、中小企業で同22.3%減の見込みとなっている。



(前年度比:%)

		(Hi	平及氏: %)
		近 畿	全 国
区	分	2020年度 見込み	2020年度 見込み
全産業		7. 3	▲ 6.8
	製造業	9. 5	▲ 4.5
	非製造業	5. 9	▲ 8.1
	大企業	8. 6	0.8
規模別 中堅企業		▲ 2.7	▲ 3.2
	中小企業	▲ 22.3	▲ 23.3

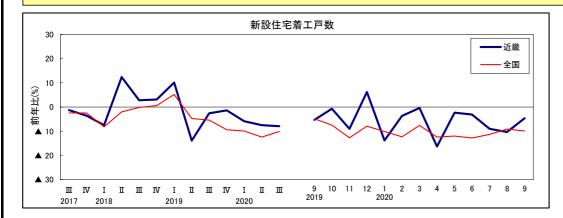
データ出所: 内閣府、財務省、近畿財務局(除く土地、含むソフトウェア投資)(電気・ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上) (大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円以上10億円未満、中小企業: 同1千万円以上1億円未満)

4. 住宅投資 … 弱まっている

○新設住宅着工戸数 ── 前年同月比 4.6%減(9か月連続の減少)

・9月の新設住宅着工戸数は、11,688戸で、前年同月比4.6%減(全国9.9%減)と9か月連続で前年を下回った。

・利用関係別では、「持家」(前年同月比8.5%減)は12か月連続で前年を下回り、「貸家」(同0.7%増)は3か月ぶりに前年を上回り、「分譲住宅」(同11.2%減)は2か月連続で前年を下回った。

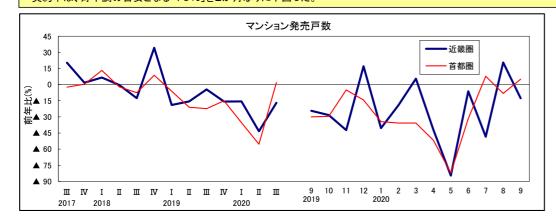


-			(単位:%)		
前年	同月比	近 畿	全 国		
全	体	▲ 4.6	▲ 9.9		
資金別	民間資金	▲ 4.4	▲ 7.9		
貝並別	公的資金	▲ 6.5	▲ 27.4		
利用	持家	▲ 8.5	▲ 7.0		
関係別	貸家	0.7	▲ 14.8		
(主要)	分譲住宅	▲ 11.2	▲ 7.8		

データ出所:国土交通省「住宅着工統計」

○マンション発売戸数 一 前年同月比12. 7%減(2か月ぶりに前年を下回った)

・9月のマンションの発売戸数は1,228戸で、前年同月比12.7%減(首都圏5.0%増)と2か月ぶりに前年を下回った。・契約率は、好不調の目安となる「70%」を2か月ぶりに下回った。



	近畿圏	首都圏
発売戸数 (前年同月比)	▲ 12.7	5.0
契 約 率	69.2	73.4

30.5

(単位:%)

▲ 8.9

データ出所:(株)不動産経済研究所

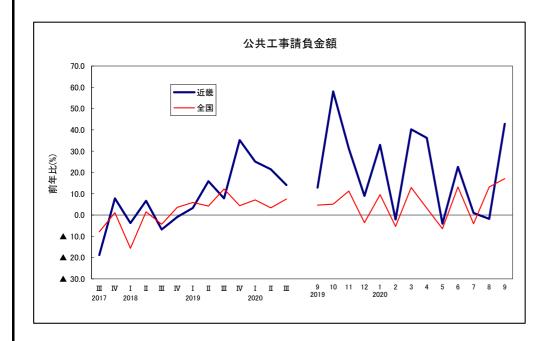
完成在庫

(前年同月比)

5. 公共投資 … 請負金額は前年同月を上回った

○公共工事請負金額 ── 前年同月比 42.8%増(2か月ぶりの増加)

- ・9月の公共工事請負金額は1,931億円で、前年同月比42.8%増(全国17.1%増)と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・発注者別では、「国」(前年同月比56.9%増)、「独立行政法人等」(同87.7%増)、「府県」(同7.7%増)、「市町村」(同25.8%増)、「その他」(同273.9%増)と全てで前年を上回った。
- ・年度累計は、前年同期比18.7%増(全国5.2%増)。



(単位:%)

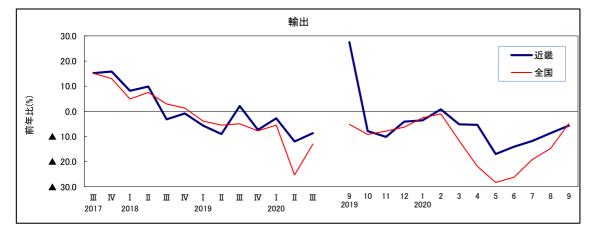
	近	畿	全	玉
	前年同月比	累計 (前年同期比)	前年同月比	累計 (前年同期比)
全 体	42.8	18.7	17.1	5.2
国	56.9	6.1	97.7	17.7
独立行政法人等	87.7	46.4	▲ 33.7	5.4
府 県	7.7	7.9	9.5	6.9
市町村	25.8	10.8	13.6	▲ 2.4
その他	273.9	31.5	34.6	12.4

データ出所:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株) 「公共工事前払金保証統計」

6. 貿 易 … 輸出は前年同月を下回った

○貿易額 ── 輸出は、前年同月比 5. 7%減(7か月連続の減少)

- ・9月の貿易額は、輸出が 1兆3,340億円で、前年同月比5.7%減(全国 4.9%減)と7か月連続で前年を下回った。
- ・主な品目別では、「非鉄金属」(前年同月比 55.9%増)等が前年を上回ったものの、「一般機械」(同14.7%減)、「鉄鋼」(同36.7%減)等が前年を下回った。
- ・主な地域(国)別では、「アメリカ」(前年同月比 5.9%減)が7か月連続、「アジア」(同 1.8%減)が7か月連続、「EU」(同 13.1%減)が12か月連続で前年を下回った。
- ・輸入(速報値)は1兆622億円で、前年同月比12.6%減(全国17.4%減)と12か月連続で前年を下回った。



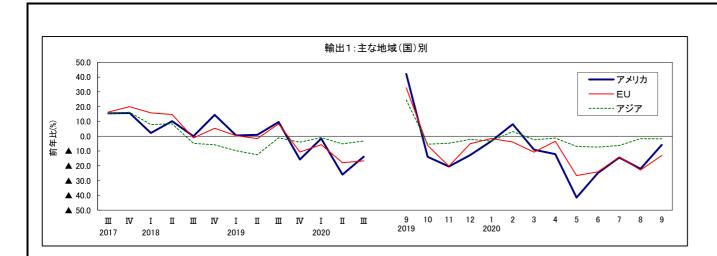
		輸入
	40.0	
	30.0	近畿 ——_近畿 ———全国
	20.0	
比(%)	10.0	
前年比(%)	0.0	
	▲ 10.0	
	▲ 20.0	
	▲ 30.0	

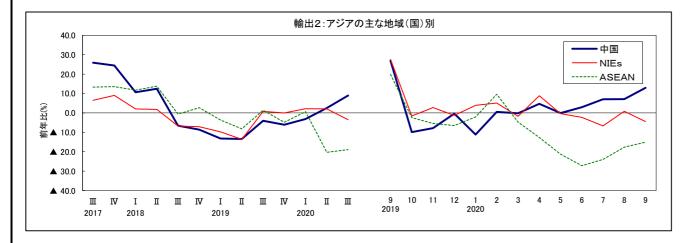
			(単位:百)	万円、%)						
	金	額	前年同月比							
	近畿	全 国	近 畿	全 国						
輸出	1,333,998	6,054,141	▲ 5.7	▲ 4.9						
輸入	1,062,187	5,366,298	12.6	▲ 17.4						

育	輸出 前 <u>年同月比 _</u>	近 畿	全 国
	食料品	18.5	15.6
	原料品	4.1	5.7
	鉱物性燃料	▲ 60.6	▲ 60.6
品目	化学製品	4.7	1.7
別	鉄鋼	▲ 36.7	▲ 29.1
主	非鉄金属	55.9	41.2
要	金属製品	▲ 2.0	▲ 12.0
	一般機械	1 4.7	▲ 7.8
	電気機器	▲ 1.2	1.0
	輸送用機器	▲ 17.0	▲ 7.2

輸入 <u>前</u> 年同月比	近 畿	全 国
食料品	▲ 0.2	▲ 8.8
原料品	▲ 28.3	▲ 11.1
鉱物性燃料	▲ 45.5	▲ 38.7
化学製品	▲ 2.2	▲ 12.4
鉄鋼	▲ 29.5	▲ 31.3
非鉄金属	▲ 29.1	8.6
金属製品	▲ 10.8	▲ 15.3
一般機械	▲ 3.1	▲ 9.0
電気機器	▲ 13.4	▲ 16.5
輸送用機器	15.1	▲ 14.5
	有年同月比有月比原料鉱物性製品非鉄属非銀金最金最最金長長日日日	有年同月比 近 畿 食料品 ▲ 0.2 原料品 ▲ 28.3 鉱物性燃料 ▲ 45.5 化学製品 ▲ 2.2 鉄鋼 ▲ 29.5 非鉄金属 ▲ 29.1 金属製品 ▲ 10.8 一般機械 ▲ 3.1 電気機器 ▲ 13.4

データ出所:大阪税関 財務省「貿易統計」





				(単位	[:%)
	輸出 F同月比	近	畿	全	国
	アメリカ	4	5.9		0.6
主な地	EU	A	13.1	•	10.6
域	アジア	4	1.8	4	2.0
(国)	(中国)		12.9		14.0
別	(NIEs)	4	4.5	4	5.2
	(ASEAN)	A	15.1	A	17.7

データ出所:大阪税関 財務省「貿易統計」

7. 雇用・・・弱い動きとなっている

○求人倍率 — <u>有効求人倍率は、1.04倍(9か月連続の低下)</u>

・9月の有効求人倍率(季調値)は1.04倍(全国 1.03倍)と9か月連続で低下、新規求人倍率(季調値)は2.17倍(全国2.02倍)と前月より0.24ポイント上昇した。



											:	有效	求人	、倍率												
1.8 1.7 1.6 1.5) -							~	_	7	_			=			_									
1.4 掛 1.3 些	,											\							\	1	1	\				
1.2 1.1												1	\					_		畿国						
1.0 0.9																	L			<u> </u>						
0.0	 2017	IV	I 2018	Π	Ш	IV	I 2019	П	Ш	IV	I 2020	Π	Ш	9 201	10 9	11	12	1 2020	2	3	4	5	6	7	8	ę

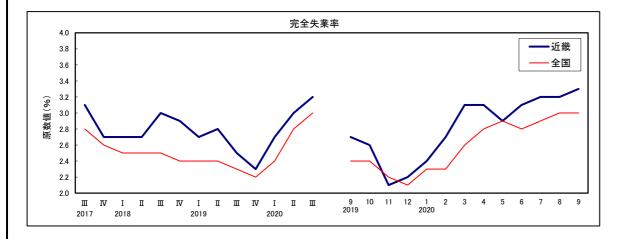
	2017	2018	2019	2020	2010	2020
				新規求人	.倍率	
2.70 2.60 2.50 2.40 2.30 2.20 2.10 2.00 1.90 1.80					~	近畿
1.60	Ш Л 2017	7 I II III 2018	IV I II III 2019	I IV I II III 2020	9 10 11 2019	12 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	近畿	全国	福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
有効求人 倍率	1.04	1.03	1.44	0.82	1.01	1.12	0.93	1.09	0.96
新規求人 倍率	2.17	2.02	2.37	1.42	2.19	2.43	2.00	1.95	1.87

データ出所:厚生労働省「一般職業紹介状況」

○完全失業率 — 3.3%(前年同月と比べ7か月連続で悪化)

・9月の完全失業率(原数値)は、3.3%(全国3.0%)と前年同月と比べ7か月連続で悪化した。



 (単位:%)

 近畿
 全国

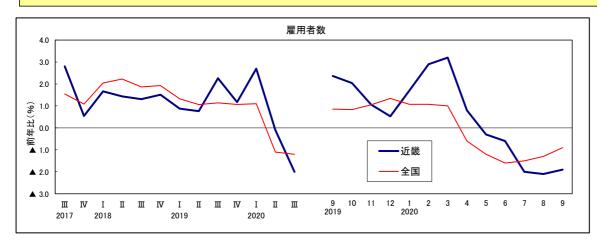
 原数値
 原数値
 季節調整値

 完全失業率
 3.3
 3.0
 3.0

データ出所:総務省「労働力調査」

○雇用者数 — <u>前年同月比1.9%減(5か月連続の減少)</u>

・9月の雇用者数(原数値)は、934万人で、前年同月比1.9%減(全国0.9%減)と5か月連続で前年を下回った。



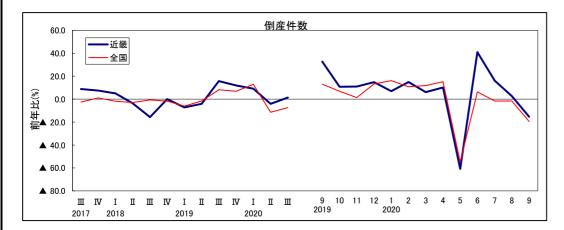
					(単位	∷万人、%)					
	近	畿		全 国							
	原数	汝値	原数	汝値	季節記	周整値					
		前年 同月比		前年 同月比		前月比					
雇用者数	934	1 .9	5,961	▲ 0.9	5,950	0.2					

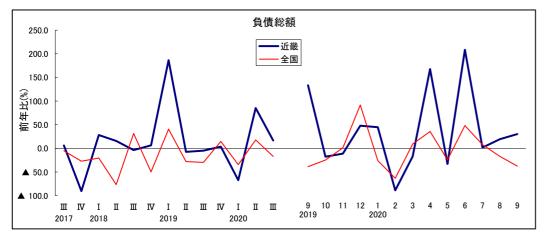
データ出所:総務省「労働力調査」

8. 倒産 … 件数は前年同月を下回った

○企業倒産件数 ——_148件、前年同月比15.4%減 (4か月ぶりに減少)

- ・9月の企業倒産件数は148件で、前年同月比15.4%減(全国19.5%減)と4か月ぶりに前年を下回った。
- ・負債総額は237億円で、前年同月比30.2%増(全国37.4%減)と4か月連続で前年を上回った。





(単位:件、百万円、%)

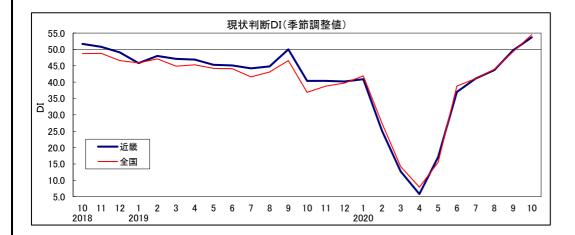
	`F	組	全国		
	近 <u>畿</u>		<u> </u>		
		前年 同月比		前年 同月比	
倒産件数	148	▲ 15.4	565	▲ 19.5	
負債総額	23,719	30.2	70,740	▲ 37.4	

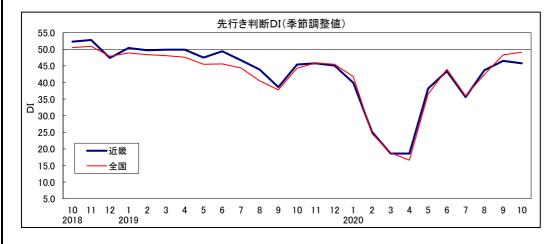
データ出所:(株)東京商エリサーチ

【参考】

〇景気ウォッチャー調査 — 現状判断DI(季節調整値)は、53.7(6か月連続の上昇)

- ・10月の現状判断DI(季節調整値)は、53.7(全国54.5)と、6か月連続の上昇となった。 ・先行き判断DI(季節調整値)は、45.8(全国49.1)と、3か月ぶりの下降となった。





	近	畿	全国	
	9月	10月	9月	10月
現状判断DI	49.7	53.7	49.3	54.5
先行き判断DI	46.5	45.8	48.3	49.1

データ出所:内閣府「景気ウォッチャー調査」 (いずれも季節調整値)

〇中小企業景況調査 — 業況判断DI(季節調整値)は、▲33.3

- ・業況判断DI(季節調整値)は、全産業では▲33.3(全国▲34.1)となり7期ぶりに上昇した。
- ・来期の見通しは、製造業▲38.1(今期▲41.8)、非製造業▲35.9(同▲30.2)となり、製造業は上昇、非製造業は低下となった。

